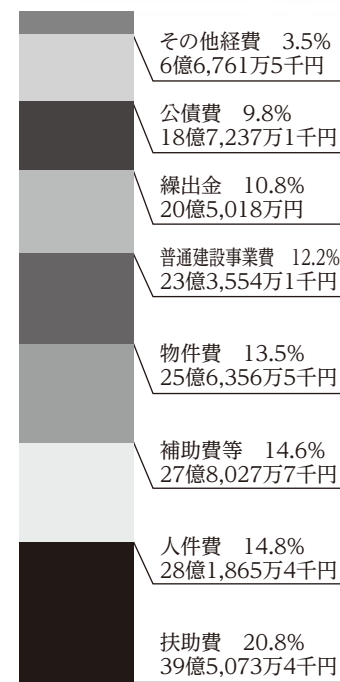
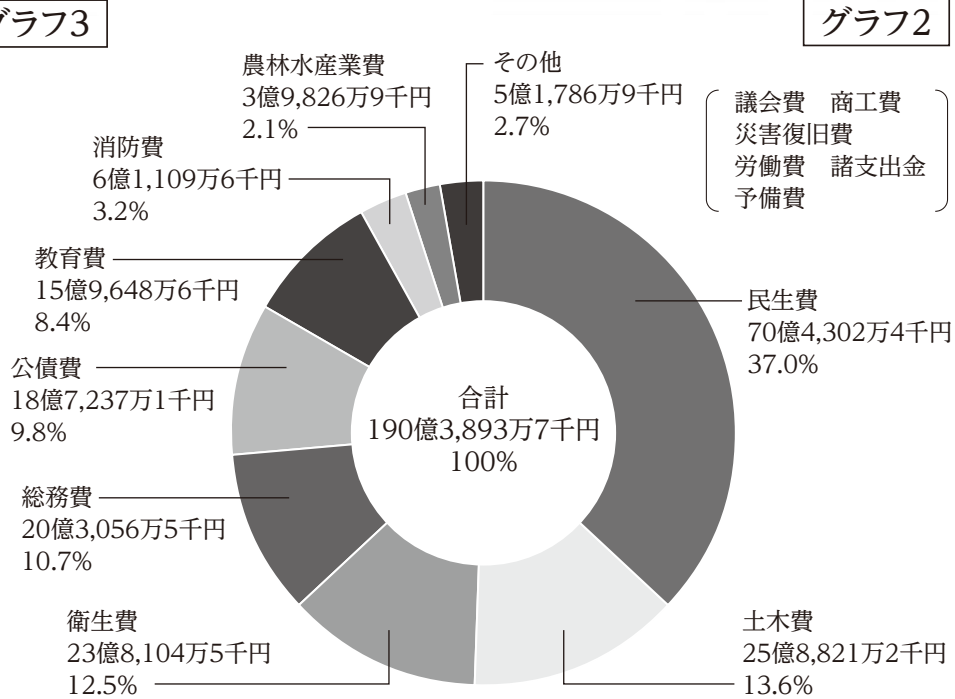


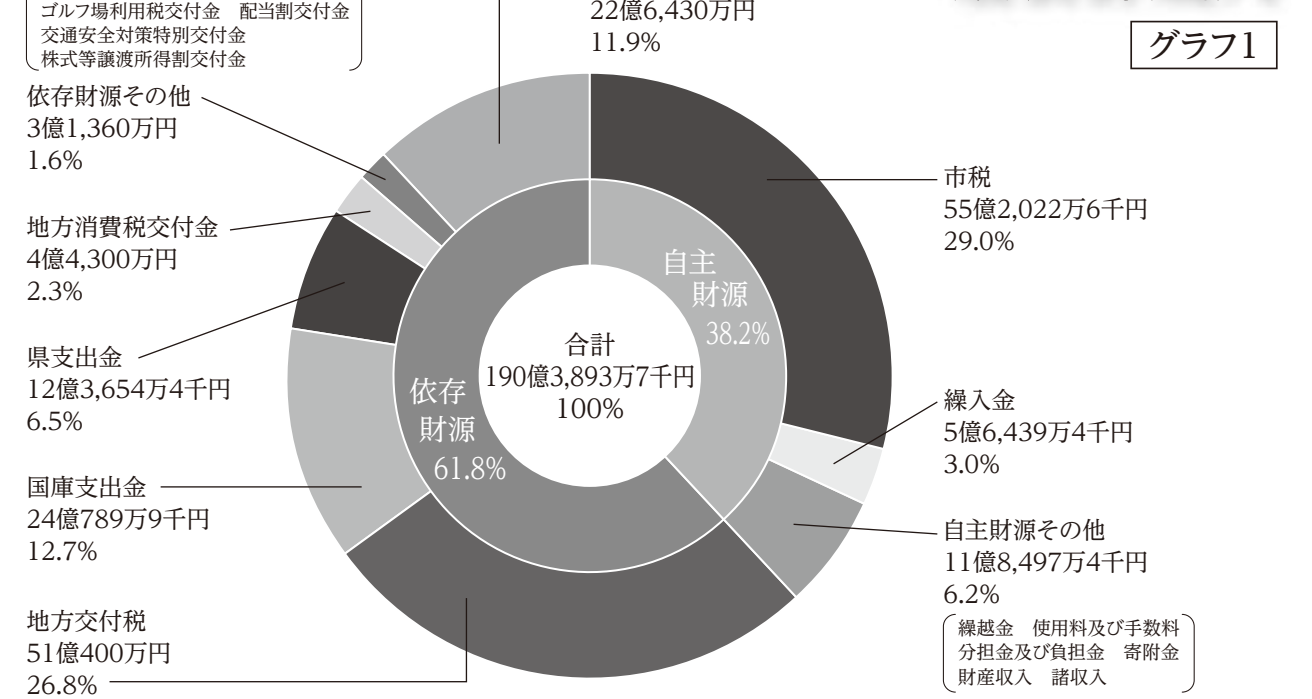
一般会計歳出(性質別)



一般会計歳出(目的別)



一般会計歳入

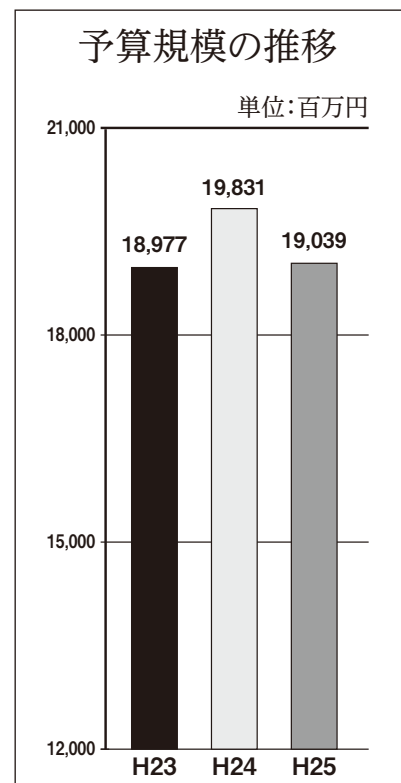


特別会計

会計名	本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減額	増減率
国民健康保険事業特別会計	67億7,728万4千円	65億4,789万5千円	2億2,938万9千円	3.5%
後期高齢者医療事業特別会計	8億3,562万3千円	8億365万2千円	3,197万1千円	4.0%
介護保険事業特別会計	38億9,262万8千円	37億9,146万9千円	1億115万9千円	2.7%
公共下水道事業特別会計	35億7,117万8千円	40億5,229万3千円	△4億8,111万5千円	△11.9%
地域し尿処理施設事業特別会計	6,832万2千円	6,877万3千円	△45万1千円	△0.7%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,185万9千円	1,330万7千円	△144万8千円	△10.9%
合計	151億5,689万4千円	152億7,738万9千円	△1億2,049万5千円	△0.8%

平成25年度予算

今年度は予算編成時期に市長選挙が行われたため、新規の施策や政策的経費に関する予算は原則的に6月補正予算で追加しました。これにより実質的な平成25年度予算が成立したことになります。



予算の編成に当たっては、市政運営の指針である「総合計画」や「行財政改革大綱」、「中期財政見通し」に基づき、引き続き計画的な予算措置と「最小の経費で最大の効果」をあげるという地方公共団体の責務を果たすため、自主・自立の行財政運営の確保を目指しました。

また、従来の枠配分予算方式による予算編成を見直し、財源確保と経費精査の両面において精度を増した積み上げ方式により、経費節減を図り、財政構造の弾力性を示す経常収支比率の向上に努めていくとともに、財源が厳しい中においても、しっかりと行政サービスが持続的に提供可能な財政基盤を確立することとします。

■一般会計歳入【グラフ1】
歳入は、税収などの「自主財源」と国や県補助金などの「依存財源」に分けられます。

■一般会計歳出【グラフ2・3】
一般会計歳出については、総合計画に掲げている分野別目標像に沿って主な内容を次の表Bで紹介しています。

特別会計は約1億円の減

市の会計には、一般会計のほかに六つの特別会計がありま

す。特別会計とは特定の事業を行うため、一般の歳入歳出予算と区別して整理する必要がある場合に設置するものです。当市の特別会計の予算額の合計は前年度比1億204万95千円、0.8%の減となりました。国民健康保険事業において、医療費の増加に伴い前年度比2億2938万9千円、3.5%の増となりましたが、公共下水道事業において、下水道整備費が減額になったことなどに伴い、前年度比4億8111万5千円、11.9%の減となり、全体で減少ししました。

「自主財源」が多いほど、市独自の住民サービスの提供や将来へ向けての積立ができ、行政活動の自主性、安定性が確保できます。

一般会計歳入のうち自主財源である市税は前年度比3億7852万6千円、7.4%増加を見込んでいます。市民税が、個人では給与所得の伸び悩みが見込まれるものの、福岡駅東地区開発などに伴う人口増加を包括的に見込み、法人では福岡駅東地区開発および大型商業施設開業に伴う法人数増加分を見込み、前年度比1億6224万6千円、6.4%の増となりました。固定資産税については、福岡駅東地区開発に伴い前年度比2億182万7千円、9.2%の増となったことなどが挙げられます。全体として、自主財源比率は38.2%となり、市の財政基盤は厳しいものといえます。

依存財源のうち地方交付税は、前年度に比べ3億5500万円、6.5%の減を見込

福津市の

家計簿



市の予算は金額が大きく、また言葉が難しくて想像しにくいものです。
そこで、平成25年度の一般会計予算をおよそ6000分の1にし、
また、予算の内訳を「食費」や「医療費」など身近な言葉に置き換えて、
年収300万円の家庭の家計簿に例えてみました。

福津市が年収300万円の家庭だったら

単位：円

収入の部	
項目 ※()内は市の歳入予算科目	金額 ※()内は1カ月当たりの額
給与収入 (市税)	869,832 (72,486)
家賃収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	93,295 (7,775)
銀行などからの借入金 (市債)	356,790 (29,733)
預金の引き出し (繰入金)	88,933 (7,411)
預金の利子 (利子割交付金、配当割交付金など)	3,939 (328)
実家からの援助金 (地方交付税などの依存財源)	1,493,788 (124,482)
土地の売却など (財産収入)	7,023 (585)
前年度の残金 (繰越金)	31,514 (2,626)
雑収入 (諸収入、寄附金)	54,886 (4,574)
合計	3,000,000 (250,000)

支出の部	
項目 ※()内は市の歳出予算科目	金額 ※()内は1カ月当たりの額
食費 (人件費)	444,140 (37,012)
医療費、教育費など (扶助費)	622,524 (51,877)
ローン返済 (公債費)	295,033 (24,586)
光熱費、電話料金、物品購入など (物件費)	403,946 (33,662)
家の維持補修 (維持補修費、災害復旧費)	22,479 (1,873)
友人への援助金など (補助費等、投資及び出資金、貸付金)	485,633 (40,470)
家の増改築など (普通建設事業費)	368,016 (30,668)
貯金 (積立金)	30,351 (2,529)
家族への仕送り (繰出金)	323,051 (26,921)
雑費 (予備費)	4,827 (402)
合計	3,000,000 (250,000)

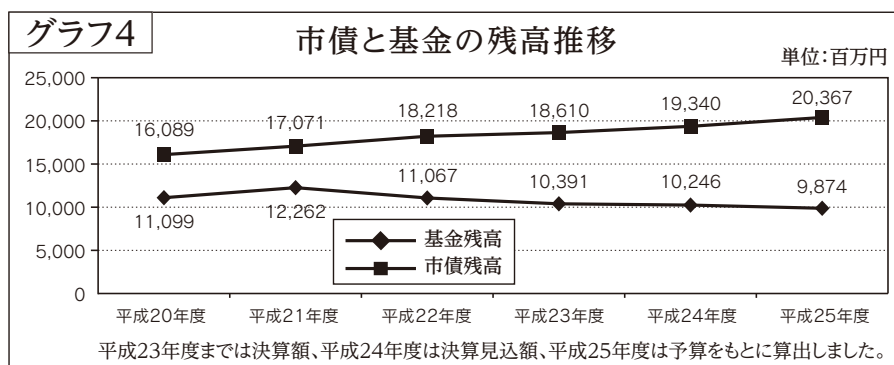
平成25年度の主な事業別予算額 表B

事業名称	予算額(千円)	事業名称	予算額(千円)
0. 行政経営へと変革する			
議場設備改修	21,510	行政・観光情報ステーション管理運営	11,300
1. みんなの力で地域自治をすすめるまち			
郷づくり推進(拠点整備)	58,287	自治会(区)支援	93,541
古墳公園史跡等購入	36,541	世界遺産登録活動	16,697
2. 子どもが夢を持ち、健やかに育つまち			
FUCSTA(フクスタ)管理運営	22,248	小学校施設大規模改造	120,017
中学校施設大規模改造	121,000	乳幼児医療費支給(市単独分)	37,188
認可保育所定数確保	212,207	武道場整備	9,782
図書館改修	13,000	通級指導教室整備	2,337
3. みんなが安全に、安心して暮らせるまち			
橋梁長寿命化修繕	21,000	個別予防接種	142,326
福岡駅東地区防火水槽整備	31,535	急傾斜崩壊対策	29,000
ハザードマップ作成	17,000	ひとり暮らし高齢者等見守り	833
障害者虐待防止対策	3,240	男女共同参画宣言都市10周年記念	834
4. 自然を大切にしたい美しいまち			
松くい虫防除	9,089	地中熱ヒートポンプ設置補助	3,000
住宅用新エネルギー設備等設置補助	16,200	地域分別ステーション整備	3,900
5. みんなにやさしく、快適で住みよいまち			
福岡駅東土地区画整理	98,463	駅東土地区画整理地区内公園整備	80,000
西鉄宮地岳線跡地整備	38,239	市営住宅改修	19,703
松原上西郷線整備	228,000	福岡駅松原線整備	220,000
サイン整備	23,000	身障者駐車場屋根設置	20,421
6. 地域産業を支え、育むまち			
まちおこしセンター管理運営	11,077	中小企業融資制度	35,000
農業用施設整備	34,060	水産振興補助	4,450
福岡海岸市有地整備	39,182	買物支援モデル	3,323
7. 福津ブランドを生み育て、発信するまち			
福津ブランド推進	5,938	食の街道プロジェクト	1,800
山笠保存会補助	2,640	福津市PR	2,293

福津市の貯金と借金

市には一般に支出するお金とは別に、不測の事態に備えたり、特定の事業を行ったために蓄えた基金というものがあります。一般家庭で言えば貯金となるものです。また、市がいろいろな事業を行う上で、銀行などからお金を借りて事業を実施することがあります。これは一般家庭で言えば家を買うために住宅ローンを組むことに例えることができます。では、市にどれだけの貯金と借金があるのでしょうか。一般会計で見た基金と市債残高の推移をグラフで表してみました。【グラフ4】

市債の新規借入れについては、今後大規模事業が完了するため減少していく予定ですが、それまでに借入れした合併特例債や臨時財政対策債などの市債の償還が毎年増加することから、地方債残高も平成26年度までの間は、ほぼ右肩上がりが増加する見込みです。



基金については、引き続き実施計画事業を推進するために、主に教育施設建設関連に充てる教育施設建設準備基金と、まちづくり全般に充てるまちづくり基金を取り崩す予定で、徐々に減少していく予定です。